

季節風

【ゆめくる鹿北】

2022年(令和4年)
2月号 No.1
山鹿市教育委員会
教育総務課
山鹿市立鹿北中学校

弓道部、昇段(ビデオ)審査

一月二十九日(土)、八時三十分より、弓道部の昇段審査のためのビデオ撮影が行われました。

今日、昇段審査を受けるのは2年生の弓道部員3名です。

弓道場は、底冷えのする寒さが足の裏から伝わってきます。そんな寒さの中ですが、凛と張り詰めた緊張感を楽しむかのように、3名の生徒の落ち着いた所作がとても優雅に見えました。

新型コロナウイルス感染症拡大が続いている



最後に、すべての部活動が、二月十三日(日)まで中止となります。

部活動は中止となりませんが、自分自身の成長や努力まで止めてしまわないようにしたいものです。

SDGsコンテスト =表彰式=

生活環境委員会が企画したコンテストは各自が、SDGs(持続可能な開発目標)鹿北版17の目標の中から、1つを選び実践するというものです。

その中で特にユニークであったり、みんなに知らせたい目標を選出し、生活安全委員長賞、鹿北中学校長賞として表彰しました。



自主トレ大作戦&朝トレ(体育安全委員会)

二月三日(木)、体育安全委員会企画の「自主トレーニング大作戦!」を行うため、部活動ごとに集まり、自宅で行えるトレーニング内容について話し合いました。

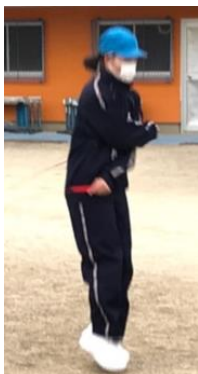
現在、部活動は全県下中止となっています。

そんな中、自分たちの体力が低下することを心配して、自宅で運動を行っています。



朝のトレーニングが再開しました。

しかし、ランニングではなく、ソーシャルディスタンスに配慮して「なわとび」をしています。こんな工夫が大切です。



季節風

【ゆめくる鹿北】

2022年(令和4年)
2月号 No.2
山鹿市教育委員会
教育総務課
山鹿市立鹿北中学校

生徒会、「目指す姿」を共有

二月十五日(火)の六時間目、一・二年生は、令和四年、生徒会目指す姿を共有するための取組を行いました。

最初に、生徒会三役より、目指す姿をなせ、『みんな違ってみんないい』が認め合える鹿北中生」としたのかについて説明がありました。

次に、合言葉である「Challenge」⇕「自分らしさを再発見」について、みんなに熱く語ってくれました。

特に、「チャレンジする前とチャレンジした後では、見える景色がきつと



違っていていると思います。つまり、チャレンジすることです。今までとは違う自分と出会う」との言葉が印象に残りました。一人ひとりが、どんな風に自分らしさを再発見できるのか、いよいよチャレンジが始まります。

☆家庭科マジック☆

先週から、校長室前廊下の窓のところに、家庭科で制作した「軍手アート」が展示されています。

普段使っている何の変哲もない軍手が、見事に生まれ変わっています。

まさに、「家庭科マジック」です。

そして、その軍手の人形が笑顔で見つめてきます。

中学生の豊かな発想が感じられるとともに、自然と笑顔になります。

ぜひ、来校された際には、ご覧ください。



「自立した学習者」の育成

昨年十二月に、一・二年生が実施した県学力学習状況調査の結果が送られてきました。

普段の学びの成果が表れている生徒もいれば、まだまだ成果が出ていないという生徒もいました。

そこで本校では、国語、数学、英語それぞれの教科ごとに基礎・応用の6コースを設定し、一・二年生が学年に係なく、自らコース選択して学びを振り返る時間を確保しました。

応用コースを選んだ生徒は図書室に集まり、各自が問題演習に取り組みます。

基礎コースを選んだ生徒は、複数の先生がいる教室に教科ごとに分かれて、わからない問題などを質問したり、自分に合った課題に取り組めるようにしています。

このように、本校では、生徒の個別最適な学びを確実に、「教える」から「学ぶ」への転換を図りながら、自立した学習者の育成に取り組んでいます。

